周防大島町 宮崎川洪水ハザードマップ

令和4年3月　周防大島町総務課　電話 0820-74-1000

この地図は、大雨が予想されるとき、安全を確保するために必要な情報を示しています。
いざという時に備えて、ハザードマップの内容を確認しておいてください。

ハザードマップの使い方

ステップ① 自宅の位置や緊急避難場所を確認しましょう。

国道・県道、学校・公共施設などの位置を参考に、自宅や避難先を確認しましょう。

ステップ② 大雨のときに危険な場所を確認しましょう。

水路や橋、土砂災害警戒区域など大雨の時に危険となる場所を確認しましょう。

台風が接近する時は、高潮が発生するおそれもあります。高潮が発生する地域も「高潮ハザードマップ」で確認しましょう。

ステップ③ 危険箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

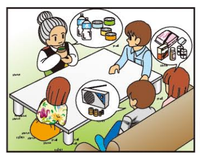
②で確認した大雨のときに危険となる箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

ステップ④ 実際に避難経路を歩いてみて、安全か確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、③で設定した経路を歩いてみましょう。がけや水路など、避難経路に危険な箇所がある場合には避難経路を見直しましょう。

ステップ⑤ 非常持出品を準備しましょう。

下の「非常持出品」を参考にして、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。



ステップ⑥ わが家の防災メモを記入しましょう。

普段から緊急避難場所を確認し、わが家の避難計画を検討しましょう。また、災害時の集合場所や家族、親せき等の連絡先、連絡方法を記入し、いつでも見えるようにしておきましょう。

避難行動判定フローをもとに、大雨のときにとるべき避難行動を複数ケースで考えておきましょう。

わが家の防災メモ

記入したら、コピーをするか、スマートフォンなどで撮影しておきましょう

家族や地域できめておきましょう

最寄りの避難場所はどこですか？	家族の集合場所はどこですか？

家族と連絡を取る方法

利用方法
- 伝言を**録音**する → 1 7 1（局番なしで「171」をダイヤルし、音声ガイダンスにしたがって…） → 1「1」を選択 → 被災した家の電話番号を市外局番からプッシュ → 伝言を入れる（30秒以内）
- 伝言を**再生**する → 1 7 1（局番なしで「171」をダイヤルし、音声ガイダンスにしたがって…） → 2「2」を選択 → 被災した家の電話番号を市外局番からプッシュ → 伝言を聞く

災害用伝言板　携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができます

NTTドコモ	KDDI: au	ソフトバンク・ワイモバイル
http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi	http://dengon.ezweb.ne.jp/	http://dengon.softbank.ne.jp/

家族の連絡先などを書き込んでおきましょう

氏名	続柄	血液型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先・連絡方法（携帯電話・学校・勤め先など）

被災地外の親せきや知人に連絡の中継をしてもらいましょう

被災地の中同士では電話がつながりにくい状況でも、被災地から外に向けての連絡は比較的つながりやすい場合があります。

遠くに住む親せきや知人を連絡先としてあらかじめ決めておき、いざという時に中継してもらう方法も有効です。

事前に避難のタイミングを考えておきましょう

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

家がある場所に色が塗られていますか？
- いいえ → **必ず取組みましょう！** 安全な場所にいる人は避難する必要はありません（※色が塗られていなくても、周囲より低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、必要に応じて避難してください）
- はい → 災害の危険があるので、**原則として、自宅の外に避難が必要です**
  - 例外：浸水の危険があっても、下記のすべてに当てはまる場合には、自宅にとどまり安全確保することも可能です
    ①ハザードマップの「家屋倒壊等氾濫想定区域」外である
    ②浸水する深さより高い所にいる
    ③水、食料などの備えが十分にある

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？
- いいえ
- はい

安全な場所に住んでいる親せきや知人はいますか？
- はい → 警戒レベル**3**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）
- いいえ → 警戒レベル**3**が出たら、**指定緊急避難場所か、地域で決めた避難場所があればそこに避難**しましょう

安全な場所に住んでいる親せきや知人はいますか？
- はい → 警戒レベル**4**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）
- いいえ → 警戒レベル**4**が出たら、**指定緊急避難場所か、地域で決めた避難場所があればそこに避難**しましょう

災害の危険が高まると、町や気象庁などは、警戒レベルを発表します。
レベルに応じた行動を決めておきましょう。

警戒レベル	状況	避難情報	とるべき行動
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保※1	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	災害のおそれ高い	避難指示	危険な場所から全員避難
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難※2
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	自らの避難行動を確認
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）	災害への心構えを高める

※1 警戒レベル5は、必ず発令されるものではない
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

避難するときは、「避難のポイント」を参考に行動しましょう。

風水害時の行動（タイムライン）

		気象・水象情報	町	町民の皆さん
余裕時間 大（切迫性 低）風雨が強くなる前に備える時間	3日前 避難情報（警戒レベル）1	台風が接近 / 早期注意情報 台風の経路情報 警報級の可能性の情報		□メディアを利用して気象情報を確認 □ハザードマップ等による避難のポイントと避難ルートの確認 □防災グッズの準備 家族で必要な物を再確認 □車の燃料補給 □家のまわりの確認（破損箇所、危険物の除去、避難時の安全確保） □風呂の水を溜める □テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認 □大雨が予想される時間を確認 □ラジオの接続・電池確認 □携帯電話の充電 □非常持出品の確認 □避難場所等の開設状況を確認
	1日前			**家族にあった行動を考えてみましょう** ●自宅には、どんな危険がありますか？ ・浸水の危険がある ・土砂災害の危険がある ●高齢の方や持病のある方はいますか？ ●赤ちゃんはいますか？
	12時間前	大雨が降りはじめる / 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報		
	5時間前 2	雨が強くなる 川が増水する 水防団待機 水位到達 / 大雨警報 洪水警報		**早めの避難** ・親せきや知人の家に避難することも検討 ・子どもや高齢者がいる場合、大雨になる前に避難する
危険性の切迫性 避難に要する時間に応じて避難を考える		氾濫注意水位到達 / 氾濫注意情報		●避難の前に避難先の状況を確認
	3	大雨が降る	レベル3 高齢者等避難発令	**近隣の少しでも安全な場所への避難** 立退き避難＋垂直避難 □危険な場所に住む親せき、知人に避難を呼びかける
		高潮警報		**早めの避難** **避難開始** ・夜になる前に安全な場所へ避難 ・近所の高齢者や危険な場所に住む知り合いに声をかける ・川沿いや崖下を避けて避難 ※避難場所までが危険な場合は、近くの高い場所へ避難
余裕時間 小（切迫性 高）直ちに身の安全の確保	4 更に大雨が降り続く 川があふれそうになる 氾濫危険水位到達 ・土砂災害の危険が高まる最大2時間前程度	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報（山間部）	レベル4 避難指示発令	避難完了 いざというときは、自宅の2階以上への避難 垂直避難 命を守る行動を！！
	0時間前 5 災害が発生	大雨特別警報 氾濫発生情報 高潮特別警報	レベル5 緊急安全確保発令	

警戒レベルは順を追って出されるとは限りません。

※警戒レベルは順を追って出されるとは限りません。いきなり、レベル4避難指示が発令されることもあります。

どこに避難する？

〈浸水のおそれがあるとき〉

〈土砂災害発生のおそれがあるとき〉

誰に声をかける？誰と逃げる？

〈声をかける人〉※近所の人や別居の家族など

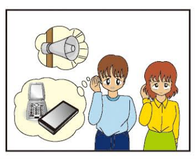
〈支援者連絡先〉※手助けが必要な人は支援者を決めましょう

避難のポイント

●避難情報等に注意し、早めの避難を

危険が迫った時は、町が警戒レベルとともに、避難を呼びかけます。また、テレビやラジオ、防災メールからも避難の情報が流れます。

呼びかけがあった場合は、速やかに避難しましょう。



●持ち物を考えて、２人以上での避難を

避難するときは、非常持出袋を持ち、動きやすい服装、スニーカー等、脱げない靴で2人以上の行動を心がけましょう。

●屋外に出るのが危険な場合は「垂直避難」

周辺が浸水し、屋外に出るのが危険な場合は、近くの高い建物や自宅の２階以上に避難し、屋内で安全を確保しましょう。

●家屋倒壊等氾濫想定区域は早期「立退き避難」が必要

家屋が倒壊するような河岸侵食のおそれがあるため、屋内待機は危険です。早めに避難場所などの安全な場所に避難しましょう。

障がいのある方やお年寄りのみなさん

●情報が取りにくい方には

目や耳が不自由で情報の取りにくい方、インターネットなどの情報がとれない方は、ご近所や日頃の支援者などに様子をたずねてみましょう。

●移動に時間がかかる方には

障がいのある方やお年寄りの中には、移動に時間がかかる方がいらっしゃいます。

早めに、自らすすんで避難しましょう。

避難に手助けが必要な方、避難途中で歩けなくなった時などは、早めに救援を頼みましょう。

●視聴覚障がいのある方には

目や耳が不自由な方は、避難するときには、自分からすすんで目や耳が不自由なことを周囲にアピールし、具体的にどういうお手伝いが必要なのかを伝えましょう。

例えば、「緊急会話カード」をあらかじめ作って持っておくとよいでしょう。

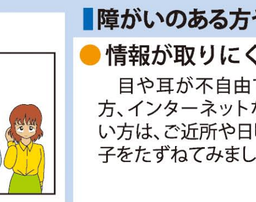
日頃の備え

日頃から、災害に対する備えをすることで、いざという時に落ち着いて行動することができます。

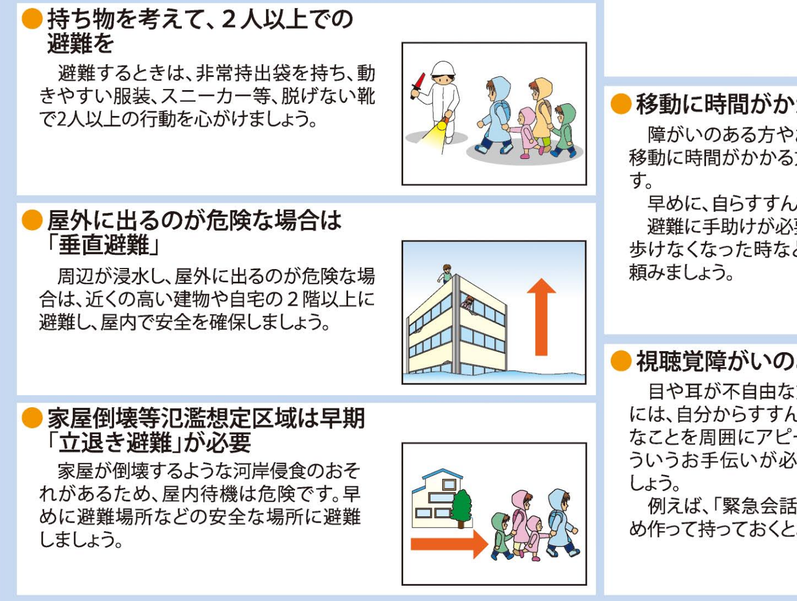
地域の自主防災会の活動に参加しましょう

洪水はもちろん、台風や地震などの災害や火事などによる被害を最小限に食い止め、安全な避難を実現するには、地域ぐるみの防災対策がもっとも有効です。

日頃から、自主防災会の防災訓練などに参加したり、**近くの安全な場所を地域の一時的な避難場所として決めておくのも良いでしょう。**



家屋のまわりを確認しましょう



非常持出品を準備しましょう

積極的に情報を集めましょう

日頃から、色々な情報源に接しておき、いざという時に備えておきましょう。

周防大島町からの情報

●周防大島町防災メール

町からの防災情報を配信するサービスです。

登録方法は２種類あります。

①e-suo-oshima@xpressmail.jpへ空メールを送信し、手続きを行う。

②QRコード対応の携帯電話をご利用の場合、右下のQRコードから登録用アドレスにアクセスできます。

詳しくは 周防大島町防災メール 検索

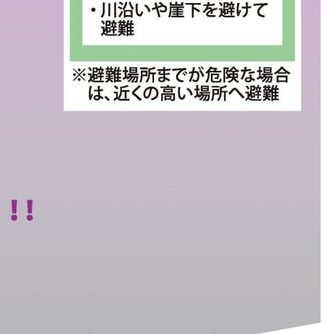
※登録・配信にかかる通信費用は利用者の負担となります。

●防災行政無線

報道機関からの情報

●テレビ

リモコンの「ｄボタン」を押すと災害情報が表示できます。



●ラジオ

インターネットから

●周防大島町のホームページ

周防大島町 検索

●周防大島町の気象防災情報（気象庁）

あなたの街の防災情報から山口県周防大島町を選択 検索

●防災やまぐち

防災やまぐち 検索

●山口県土木防災情報システム

山口県土木防災情報システム 検索

●NHKニュース・防災アプリ

NHK防災アプリ 検索

for iPhone/iPad　NHK ニュース 防災　App Store へ

for Android　NHK ニュース 防災　Google Play へ